

あきた 市議会だより

No.157

平成27年
2月6日



11月定例会の概要	P 2
議案等に対する会派別の表決状況等	P 3～4
一般質問	P 5～9
予算決算委員会分科会の審査から	P 10
2月定例会のお知らせ（予定）	P 10

なかいちウインターパークの
「氷の大滑り台」で楽しむ様子
(エリアなかいち内のにぎわい広場にて開催)

発行／秋田市議会 編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>



11月定例会の概要

11月26日～
12月19日

11月定例会では、秋田市太平山自然学習センター条例の一部を改正する件などの条例案13件、予算案14件、単行案7件をすべて可決・承認したほか、請願2件および陳情5件を採択し、議員提案による意見書案8件を可決しました。さらに、人事案9件に同意しました。

主な議案

予算

幼稚園就園奨励事業

保護者の負担軽減を図るための幼稚園就園奨励費補助金について、国の補助単価が改正されたことなどに伴い増額します。
5千331万5千円

土砂災害危険箇所 居住実態調査経費

土砂災害危険箇所の区域内に居住する世帯について、実態調査および当該区域の危険性に関する周知を行います。
対象区域 1千11カ所
対象世帯 約5千世帯
1千700万円

秋田市公共施設 総合管理計画策定経費

国の要請を受けて公共施設総合管理計画を策定するため、早期に作業準備等に着手します。
年次計画

・27年度 固定資産台帳整備、公有財産データ解析、施設評価等
・28年度 現状整理、マネジメント方針作成等

債務負担行為 3千600万円

通所型介護予防事業

要介護状態となることを予防するために提供している運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能向上の各プログラムについて、利用回数的大幅な増加に伴い増額します。
847万1千円

商店街振興事業

国の補助制度を活用し、街路灯のLED化や公衆無線LANなどを整備する商店街に対して費用の一部を補助します。
406万8千円

東北六魂祭開催準備経費

来春の秋田市開催に向けて、効果的な観光PRや実行委員会運営等、必要な準備体制を整えます。
417万8千円

「美術館の街」活性化事業

来年4月から開催予定の展覧会について、実行委員会を年度内に設立し、開催PR等を実施します。
「掌中の珠―高円宮家コレクションの根付―」
27年4月26日～6月7日

債務負担行為 1千410万円

条例

秋田市太平山自然学習センター条例の一部を改正
太平山自然学習センターの使用に係る使用料等を定めるため、改正しました。

宿泊使用

- ・市民と市民以外の区分を廃止
- ・宿泊室の使用料の単位を人数のみに改正
- ・テントの使用料を1張単位に改正

日帰り使用

- ・宿泊室の使用料の単位を時間に改正

施行期日

27年4月1日

単行案

負担付きの寄附を受納する件

土崎空襲の歴史伝承に活用するため、JX日鉱日石エネルギー株式会社が所有する秋田油槽所内試験室について、所有地外へ移転するまでの建物の管理を市で行うことを条件に建物の寄附を受納します。

人事

公平委員会委員

山本 尚子氏(再任)

固定資産評価審査委員会委員

阿部 千鶴子氏(再任)

人権擁護委員

三浦 清氏(再任)

天野 博子氏(再任)

高山 万紀子氏(再任)

稲場 みち子氏(再任)

松田 久子氏(再任)

手賀 務氏(再任)

山王丸 愛子氏(新任)



秋田市太平山自然学習センター (まんたらめ)

議案に対する会派別の表決状況

◇ 11月定例会の結果

()内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名	秋水会(12)	市民ク(5)	希望(5)	公明党(4)	共産党(4)	フォ21(3)	社・市(2)	護・わ(1)	市民み(1)	温修(1)	議決結果
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例および秋田市障害福祉サービス事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市指定居宅サービス事業者等の指定の申請者等に関する基準を定める条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市民生委員の定数を定める条例を設定する件 ◆ 秋田市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を設定する件 ◆ 秋田市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例を設定する件 ◆ 秋田市指定居宅介護支援等の事業の人員および運営に関する基準を定める条例を設定する件 ◆ 秋田市小児慢性特定疾病審査会条例を設定する件 ◆ 秋田市道路占用等に関する条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市太平山自然学習センター条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する件 ◆ 負担付きの寄附を受納する件 ◆ 秋田市ポートタワーおよび秋田港振興センターの指定管理者を指定する件 ◆ 市道路線を認定する件 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 秋田市防災行政無線移動系通信システム整備工事請負契約を締結する件 	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 雄和地域統合小学校新築等工事請負契約を締結する件 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成26年度秋田市一般会計補正予算（第4号）に関する専決処分について承認を求める件 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成26年度秋田市一般会計補正予算（第5号）の件 	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成26年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第2号）の件 ◆ 平成26年度秋田市市営墓地会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市母子寡婦福祉資金貸付事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市水道事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市下水道事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 平成26年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）の件 ◆ 秋田市国民健康保険条例の一部を改正する件 ◆ 秋田市災害対策本部情報システム等整備工事請負契約を締結する件 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 秋田市公平委員会委員の選任について同意を求める件 ◆ 秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件 ◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（7件） 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 少人数学級の堅持に関する意見書提出の件 ◆ 米の需給安定対策に関する意見書提出の件 ◆ 農協改革に関する意見書提出の件 ◆ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化に関する意見書提出の件 	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安全・安心の医療・介護の実現と看護師等の夜勤改善・大幅増員に関する意見書提出の件 ◆ 介護従事者の処遇改善に関する意見書提出の件 	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書提出の件 ◆ 労働法制の改定に反対し安定した雇用の実現に関する意見書提出の件 	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	

←4ページに続きます

請願・陳情に対する会派別の表決状況

件名		秋水会 (12)	市民ク (5)	希望 (5)	公明党 (4)	共産党 (4)	フォ 21 (3)	社・市 (2)	護・わ (1)	市民み (1)	温 修 (1)	議決 結果
請願	◆ 集团的自衛権行使容認の閣議決定撤回等に関する意見書の提出について	×	×	○ ² × ³	×	○	○	○	○	○	×	不採択
	◆ 米の需給安定対策に関する意見書の提出について ◆ 農協改革に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	◆ 安全・安心の医療・介護の実現と看護師等の夜勤改善・大幅増員に関する意見書の提出について ◆ 介護従事者の処遇改善に関する意見書の提出について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
	◆ 介護従事者の処遇改善に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
	◆ 労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
情	◆ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	◆ 専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	◆ 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の創設に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	不採択

※会派内で賛否が分かれた場合、賛成（○）と反対（×）の人数を数字で掲載しています。

★略記している会派の名称

「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「フォ21」はフォーラム21、「社・市」は社会・市民連合、「護・わ」は護憲・わんぱくの会、「市民み」は市民のみかた

[継続審査となった案件] 陳情◆カジノ合法化とIR誘致の反対について
◆通所型介護予防事業の利用について

❓ 継続審査とは…請願・陳情などについて、採択・不採択等を決定するに当たり、さらに調査する必要がある、または会期中に処理できないと判断した場合に、議会の閉会中も継続して審査するものです。

●意見書を提出しました● 秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

- 少人数学級の堅持に関する意見書
- 米の需給安定対策に関する意見書
- 農協改革に関する意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化に関する意見書
- 安全・安心の医療・介護の実現と看護師等の夜勤改善・大幅増員に関する意見書
- 介護従事者の処遇改善に関する意見書
- 専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書
- 労働法制の改定に反対し安定した雇用の実現に関する意見書

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP

議会の日程と議案の結果

11月市議会定例会

議員の表決状況

📩 請願・陳情の提出について 📩

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（866）2233

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会
伊藤 一 榮

◇平成27年度予算編成方針◇人口減少対策等◇第29回国民文化祭・あきた2014等◇県市連携文化施設◇エリアなかいち◇イオンタウン株式会社による大型複合商業施設構想◇水害対策◇高齢者福祉◇ペット霊園条例の設定等◇奨学金制度◇国指定史跡地蔵田遺跡

イオンタウン株式会社による大型複合商業施設構想

問 本市に文書で協力要請がありました。今後の対応をどう考えていますか。

答 イオンタウン(株)から提出された文書は、大型複合商業施設構想の発意・目的と共に、各施設の配置計画が示され、これにより農用地区域の解除ならびに市街化区域への編入などについて、関係機関との調整等を求めたものです。提出資料によると、イオンモール秋田に匹敵する規模の商業施設が配置され、その立地については、既存商業への影響とともに、本市が目指すコンパクトなまちづくりへの影響が避けられない可能性

性があると考えています。本市としては、このたび提出された文書をもって、本市のまちづくりの方針を見直す状況にはないと考えています。

芸術文化の定着

問 国民文化祭のアフターイベントの開催などにより秋田の芸術文化の定着を図るべきではありませんか。

答 国民文化祭によって高まりを見せた、芸術文化への関心を次世代へ継承し、新たな文化の創造につなげることは重要です。今後、多くの市民が参加できるイベントや、秋田ならではの文化活動を積極的に支援することにより、芸術に触れる機会の拡充や、幅広い市民への芸術文化の定着を図っていきます。



国民文化祭行事

市民クラブ
渡辺 良雄

◇市長の政治姿勢◇市町合併10年の検証及び課題◇第6次秋田市行政改革大綱◇第29回国民文化祭・あきた2014等◇エリアなかいち◇市有財産管理◇再生可能エネルギー◇米価下落に伴う稲作農業の諸課題◇地域の諸課題

市町合併の検証等

問 緑あふれる新県都プラン(※1)の進捗状況ならびに平成27年度の達成見通しおよび課題はどうですか。

答 同プランについては、これまで、市民生活のさらなる向上を目指し、各種事業に取り組んできたところです。同プランの平成25年度末における事業着手率は約9割に達しており、新市の基盤整備と均衡ある発展が進んだものと受け止めていますが、中には社会情勢の変化等により、計画期間内の完了が困難な事業もあります。今後は、同プランの成果を検証し、市民ニーズを的確に把握しながら、実効性のある事業の推進に努めていきます。

市民協働と都市内地域分権

問 市民との協働による地域づくりに向けて、市民が分かりやすく、受け入れやすい改革の方向を示すべきではありませんか。また、町内会活動等への支援を拡充する考えはありませんか。

答 新しい公共における市民協働については、新たな支援策の実施を通じて具体的な活動を積み重ね、その検証結果を示すことで、協働事業の考え方、その効果等について、広く市民の理解を深めていきます。都市内地域分権については、市民サービスセンターへの権限移譲を進め、市民に身近なものになるよう努めていきます。また、町内会等の活動については、現在、各種支援策を講じており、今後も支援の充実を図っていきます。



南部市民サービスセンター

※1 緑あふれる新県都プラン…合併特例法に基づく市町村建設計画として、秋田市・河辺町・雄和町合併協議会の議決を経て平成16年7月に制定されました。同計画は、基本構想、建設計画および財政計画を中心として構成されており、プランの着実な推進を通して、新市全体の発展とすみやかな一体性の確保、そして住民生活のさらなる向上に努めています。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

希望
小松 健

◇地方創生◇地域経済の活性化と雇用の創出・安定◇市民主体の地域づくり◇財政規模縮小時代における財政運営：ほか

地域協働ビジョン

問 地域協働ビジョンを策定し、市民と行政の共通認識の形成・醸成を図ってはどうですか。

答 市民協働・都市内地域分権によるまちづくりを進めていく県都『あきた』成長プランと、自助・共助・公助がバランスよく融合した地域社会の形成を目指した新しい公共の推進に取り組む県都『あきた』改革プランは、市政推進の両輪をなすものです。両プランにおいて、すべての施策を貫く横軸としてあらゆる施策事業に反映させていることから、その理念は、広く市民に伝わっていると考えています。今後、市民協働・都市内地域分権について、市民との共通認識の醸成を図るため、一層の周知と理解促進に努めます。

財政運営

問 「ハコモノ」への公共投資から「ひと」への投資へシフトするべきと思いますが、どのように考えていますか。

答 人口減少のさらなる進行が予測される現状下では、歳入に見合った歳出構造の堅持が求められます。今後、維持修繕費の増加が見込まれる公共施設においては、公共施設等総合管理計画を策定し、総量の見直しを図るとともに、改修等に充てるための新たな基金の設置など、将来の財政需要に備えていきます。また、限られた財源の効果的、効率的な活用が肝要であり、地域コミュニティの醸成やエイジフレンドリーシティの実現、次世代の育成支援等の分野に予算を重点的に配分していきます。



子どもライブラリーの様子
(フォンテ文庫)

公明党秋田市議会
松田 豊臣

◇超高齢社会における施策◇地域経済の活性化◇フードバンク事業◇防災◇空き家等の管理及び活用

中小企業等への支援

問 起業しやすい環境を整え、やる気のある小規模事業者を重点的に育成する支援や体制づくりが必要と考えますがどうですか。

答 本市では、新たに起業を目指す事業者に対し、相談窓口の開設や融資あっせん制度等により事業活動を支援しています。今後は、国の創業補助金と連動した市独自の補助制度の創設などを検討します。また、小規模事業者には、経営の安定化等の支援をしています。中でも融資あっせん制度の件数等が伸びており、さらなる融資枠の拡大も検討しています。今後、これらの支援は地方創生における本市の重要な課題であることから、国の動向を見極め、必要に応じた体制づくりについて、関係機関との協議を進めていきます。



ビジネスセミナーの様子

軽度要介護者への支援

問 本市の軽度要介護者等への在宅介護サービスの現状、課題および今後の進め方はどうですか。

答 本市では、軽度要介護者等に対し、ホームヘルパー等の派遣、配食・見守りサービス、通所等による機能訓練などを実施しています。介護保険法の改正により、市町村は今後、多様化するニーズに 대응していくため、ボランティア等を含めた多様な担い手によるサービスの提供体制を、地域ごとにその実情に合った形で構築することとなり、本市でも、そのネットワークづくりや担い手の養成・発掘などの地域資源の開発に取り組んでいきます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ(デジタル122ch)と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

2月定例会の本会議は、2月19日、27日、3月2日、6日、20日に中継予定です。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

日本共産党秋田市議会議員団
佐藤 広久

◇市長の政治姿勢◇第6次秋田市行政改革大綱◇農業問題◇小中学校の児童生徒の安全対策◇福祉灯油購入費助成◇聴覚障がい者への支援策：ほか

小規模企業の振興

問 小規模企業担当課を設置し、小規模事業者へ計画的に訪問して実態を把握し、施策に反映するべきではありませんか。

答 本市では、企業の実態把握のため、定期的なアンケート調査のほか、市内企業約200社へ個別訪問し、消費税の影響や雇用の状況、設備投資の見込み等の聞き取りを行った上で、市の融資、助成制度の説明および今後行政に望む施策の聞き取りなどを行っています。市内の企業は小規模事業者が大部分を占めており、本市としては、平成26年6月に施行された、小規模企業振興基本法（※2）の趣旨にのっとり、関係機関と連携しながら、実態把握に努め、既存施策の見直しや新たな施策を検討します。

聴覚障がい者への支援

問 手話活動の現状はどうですか。また、手話通訳者を市の正規職員として採用し、計画的に増員するべきではありませんか。

答 本市では、障がい福祉課に2名、秋田市社会福祉協議会に1名配置している手話通訳者のほか、障がい福祉課に登録している手話通訳者15名を手話通訳の申請に応じて派遣するなど、聴覚障がい者へのコミュニケーション支援を行っています。なお、平成25年度は、申請があった2千215件すべてに対応していますが、利用件数は年々増加傾向にあることから、手話通訳職員の増員について検討していきます。



手話通訳

社会・市民連合
長澤 孝政

◇市長の政治姿勢◇観光行政◇人事制度◇職員が元気に明るく働ける職場環境◇家庭ごみ有料化◇交通安全対策の推進◇史跡秋田城跡◇仁井田浄水場の更新◇コミュニティセンター

史跡秋田城跡

問 秋田城跡史跡公園への連絡ルートはどのように整備されるのですか。また、旧国道を渡る歩道橋建設計画の見通しはどのようになっていますか。

答 史跡秋田城跡歴史資料館と史跡公園は旧国道により分断されている現状のため、資料館の開館時間にあわせ、見学者が史跡公園と資料館を行き来できる新たな連絡路を設置し、アクセスの向上に努めていきます。なお、歩道橋については、史跡の東西一体化に有効な手段の一つであると考えられています。建設にあたっては、資料館の見学者の動向や財政状況などを踏まえながら検討していきます。

交通安全

問 交通安全対策についてどのように取り組んでいるのですか。また、次期交通安全計画はどのような考えで策定するのですか。

答 交通安全運動期間を中心に、街頭での啓発活動を実施しているほか、ラジオや広報紙で交通安全意識の高揚に努めています。さらに、交通安全教室や街頭指導により、危険回避能力の育成を図り、交通事故の未然防止に取り組んでいます。また、次期交通安全計画は、国や県の次期計画との整合を図るとともに、学識経験者や警察などの関連機関で組織する交通安全対策会議において、実効性のある計画を平成28年度に策定したいと考えています。



街頭での啓発活動

※2 小規模企業振興基本法…小規模企業を中心に据えた新たな施策を構築するための基本法。小規模企業の振興についての基本原則、国および地方公共団体の責務、小規模企業施策について5年間の基本計画を定めることなどが盛り込まれ、平成26年6月に公布されました。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

答 本市の市長および議員の報酬等の支給水準は他の中核市と比べ、ほぼ中位にあり、同規模都市間において均衡が図られていると考えています。また、議員報酬の見直しは、社会情勢や財政状況、他都市との均衡等を総合的に勘案しながら、必要な際には議会の意思により見直しの検討がなされるべきと考えています。

問 本市の経済状況を踏まえ、市長および議員の現在の報酬等の額は適当と考えているのですか。また、市長が議員報酬を見直している他市の事案をどのように認識していますか。

議員報酬

市民のみかた
佐藤 哲治
◇市長及び議員の報酬等◇公共施設の全体最適化への取り組み◇空き家対策◇連携推進官及び担当官◇臨時及び嘱託職員◇ふるさと納税(きずなでホトトシ)◇子ども・子育て支援新制度と待機児童解消◇住みよい住環境の維持◇太平洋山の登山道等の管理◇秋田の文化◇地域の諸課題



問 秋田市空き家等の適正管理に関する条例は、市民の安全で安心な暮らしの実現に寄与していますか。

空き家の適正管理

答 条例施行後、周辺に危害を及ぼす恐れがある危険な空き家の相談があった場合は、本条例に基づき、所有者を特定した上で、指導しています。また、通行人などに被害を及ぼす恐れがあるなど、緊急性がある場合は、危険回避のための必要最小限の応急措置を行う「緊急安全措置」を実施しており、こうした対応により、危険な空き家が少しずつですが、減少してきていることから、市民の安全安心に寄与していると考えています。

問 同大学東アジア調査研究センターに、本市貿易施策への提言書の作成を委託しているほか、6次産業化地域資源発掘事業には、学生が主体となり市内産の農林水産物を活用した新たな土産品の商品開発等を行っています。また、同大学教授は第6次秋田市行政改革大綱の策定に携わっているほか、国際交流事業のボランティア通訳に学生の派遣を依頼しています。さらに、雄和地域で農作業体験を行うなど、地域との交流も積極的に行われています。今後、同大学との連携を密にし、本市に設置されているメリットを十分に生かしていきます。

問 国際教養大学との連携をどのように考えているのですか。

国際教養大学との連携

秋水会
岩谷 政良
◇市長の政治姿勢◇国際教養大学との連携◇入札制度の改善◇空き家対策◇秋田市景観計画◇秋田市公設地方卸売市場◇教育行政

問 本市が消滅可能性都市とされたことをどう受け止め、人口減少に今後どう取り組みんでいくのですか。

答 人口減少問題に対して、これまで以上に危機感を持って取り組む必要があると考へ、今年度、庁内検討会を新たに設置し、市の事業を住宅・雇用・生活環境など、移住・定住対策の視点からとらえ直し、整理する作業を行っているほか、若手職員による研究会において、アイデア提案に向けた検討を進めています。来年度策定する次期総合計画においても、人口減少対策は大きな柱になると考へており、今年度実施した市民意識調査結果を同計画に反映させるとともに、具体的な数値目標の設定も今後検討していきます。

消滅可能性都市(※3)



※3 消滅可能性都市…有識者らでつくる民間研究機関「日本創成会議」が平成26年5月に独自の試算を行い、2040年までに20～39歳の若年女性が半減し、少子化に伴う人口減少によって、将来、行政機能の維持が難しくなるとみられる自治体を「消滅可能性都市」とし、公表しました。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会
齊藤善悦

◇人口減少対策◇地方創生◇都市と農村◇平成27年度予算編成と秋田市行政改革大綱等◇市町合併◇地域の諸課題

都市と農村

問 都市と農村の交流による地域振興を強力に推進するべきと考えますが、本市における都市と農村のあり方をどう考えていますか。

答 本市では、自然環境や地域資源を生かした都市と農村の共生・対流の促進とともに、農林水産業と商工業との連携強化による地域ビジネスの展開や協働活動の促進を図りながら、都市近郊型農業の実現を目指しているところです。また、第6次秋田市総合都市計画では、農村の魅力や特性を踏まえて、まちづくりの方針を明確にしたところであり、今後とも、生産地と消費地という関係をより強固にするともに、農村が持つ自然や風土を生かした都市との交流や地域振興が促進されるよう取り組んでいきます。

地方創生

問 地方創生関連法に呼応した市政の推進について、どのように考えますか。



農村風景

答 同法を踏まえ、本市では、来年度「地方版総合戦略」を策定したいと考えています。詳細はまだ示されていませんが、「地方版総合戦略」に盛り込まれる地域の実情に応じた取り組みの支援が予定されています。政府は、やる気のある地域に対して集中的に政策資源を投入するとしており、今後、国から示されるガイドラインなども参考にしながら、個性豊かで魅力ある地域社会の形成に向け、本市ならではの地域特性を生かした戦略づくりに鋭意取り組んでいきます。

❖ 秋田市議会プチ情報 ❖

意外と知らない秋田市議会に関する情報をお知らせします。

★年齢別議員数（平成27年2月1日現在）

年齢	30代	40代	50代	60代	70代	80代	平均年齢
人数	1人	4人	12人	13人	8人	1人	61.3歳

★秋田市議会当選回数

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	計
人数	10人	10人	8人	5人	1人	2人	2人	0人	1人	39人

★党派別議員数

党派名	自由民主党	公明党	共産党	社会民主党	民主党	無所属	計
人数	6人	4人	4人	2人	1人	22人	39人

★他市からの行政視察受入状況

秋田市で行っている施策等に対して、他都市から多くの議員が視察に来ています。視察に多く来られる項目は他都市でも注目されているものであり、その一部をご紹介します。

〔平成26年度12月までの視察項目ランキング〕

- 1位 学力向上の取り組みについて
- 2位 エイジフレンドリーシティについて
- 3位 自殺対策について

議会の動き

11月26日 11月定例会
(12月19日まで)
12月19日 編集委員会

1月9日 編集委員会
16日 編集委員会
29日 建設委員会 (閉会中)
30日 厚生委員会 (閉会中)

2月6日 議会運営委員会
各派会長会議

予算決算委員会の各分科会で補正予算等の審査を行いました。

総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、公平委員会等の所管事項

委員 土砂災害危険箇所居住実態調査経費について、危険箇所に住居している住民に対し、危険な区域であることをどのよう周知しますか。

総務部

居住者への周知については委託することとしており、受託者が危険箇所に住居している約5千世帯を訪問し、居住者に対し、居住している区域の危険な状態や起こり得る災害の種類等について情報提供したいと考えています。また、市では、居住者へ実態調査の実施や受託者の訪問を通知するほか、町内会長などへの周知に際しては同行したいと考えています。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 妊産婦保健事業について、妊産婦の健康診査の受診件数は、当初予算の見込みと比べ、どの程度増えましたか。また、受診件数が増えている要因をどのように分析していますか。

子ども未来部

当初予算における受診件数の見込みに対し、今年4月から9月までの上半期実績で約4.1%増加しており、この実績をもとに下半期の受診件数を約5.8%の増加と見込み、当該委託料を増額補正しました。また、今年の4月から8月までにおいては、妊娠11週までの初期に届け出る方が増加しています。妊娠初期の方は妊婦健康診査の受診回数が多い傾向にあることから、その結果、受診件数の増加につながったものと思われると思います。

教育産業分科会

商工部、農林部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 東北六魂祭について、本市をPRする機会になるとは思いますが、特産品や観光を含めてどのように行うのですか。

商工部

これまで開催された東北六魂祭では、観光のみならず地元の特産品や祭りについても広くPRを行っており、本市開催においてもそれらに加え、飲食ブースの設置や県内の郷土芸能のPRを視野に入ながら具体的な事業計画を検討しています。

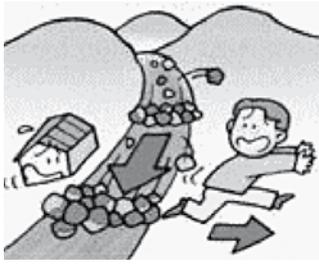
建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 秋田駅西北地区土地画整理事業の進捗率は平成25年度末で約50%のことですが、今後の計画はどのようになっていますか。

都市整備部

本事業について、建物移転は60戸のうち、残り3戸であるものの、事業のウエイトを大きく占めている都市計画道路千秋山崎線の整備が未着手であることから、事業費ベースで約50%の進捗率にとどまっていますが、今後、千秋山崎線の整備に着手することによって進捗率が上がっていくものです。



平成26年に山形市で開催された東北六魂祭パレードの様子



秋田駅西北地区の整備状況

2月定例会のお知らせ(予定)

■ 日程

2月19日 本会議
2月27日、3月2日 本会議「代表質問」
3月3日～5日 常任委員会・分科会
6日 本会議「一般質問」
9日～13日、18日 常任委員会・分科会
20日 本会議

■ 代表質問予定者

赤坂光一(秋水会)、花田清美(市民クラブ)、鳥井修(希望)、堀井明美(公明党)、鈴木知(共産党)、佐原孝夫(フォーラム21)

■ 一般質問予定者

津谷聡・小木田喜美雄(秋水会)、小野寺誠(希望)

各派交渉団体(3人以上所属の会派)を代表して質問します。

※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。日程および代表・一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。